

ACA活動紹介

「第5回 著作権を守ろう！ポスターコンクール」の開催

不正商品対策協議会(ACA)では、著作権を保護することの重要性を若年層に広く知ってもらうことを目的に、「第5回著作権を守ろう！ポスターコンクール」を開催。警察庁、文部科学省の後援のもと、全国の小学校4年生から中学生を対象に公募し、15校より合計36作品の応募がありました。警察庁、文部科学省、ACAによる厳正な審査の結果、入選5作品が決定しました。

最優秀賞作品を受賞した福元ゆあさんの作品は、「受賞作品ポスター」として制作し、ACAが実施する各種啓発事業での活用や都道府県教育委員会など関係各所に配布いたしました。



最優秀作品で制作したポスター

各種展示会への参加

全国の警察や、自治体・消費センターが主催する生活展などへの協力も実施しています。

2016年は9件の自治体、関係団体のイベントに本物・偽物の展示品の貸出や解説員を派遣するなどして、消費者の皆様に知的財産権の正しい知識を学んで頂くためのお手伝いをさせて頂きました。



「JAPAN EXPO IN THAILAND」
(2016年2月10日～12日)内で文化庁委託事業としてタイ知的財産局(DIP)の協力のもとCODAが「著作権〇×クイズ」を実施。



「マンガフェスティバルinマレーシア」
(2016年11月18日～20日)内で文化庁委託事業としてマレーシア知的財産公社(MyIPO)の協力のもとCODAが「著作権〇×クイズ」を実施。



「サイバー犯罪防止キャンペーンの様子」
(兵庫県警察主催、ACCS他共催)



「サイバーセキュリティカレッジ in NARAの様子」
(奈良県警察主催、ACCS他協力)

ACA活動紹介

不正商品対策協議会設立30周年記念「アジア知的財産権シンポジウム2016」開催

不正商品対策協議会(ACA)は、2016年12月19日(月)、JPタワーホール(千代田区丸の内)にて、「グローバル社会における知的財産の保護と不正商品の排除に向けて」をメインテーマとしたシンポジウムを開催しました(共催：日本経済新聞社 後援：知的財産戦略本部・警察庁・総務省・外務省・財務省・文化庁・経済産業省 協力：コンテンツ海外流通促進機構)。

設立30周年を記念し開催された同シンポジウムには、企業の知財担当者をはじめ、広く一般からの聴衆約300名が集い活況の様相を呈しました。なおACAによるシンポジウムの開催は今回で14回目となります。

会場の一角では、偽ブランド品・海賊版・偽キャラクターグッズなどを多数展示するコーナーが設けられ、実物の不正商品に熱心に見入る聴講者の姿が見受けられました。

なお、同シンポジウムの模様は、従前どおり日本経済新聞で1月に特集記事として掲載されました。



開催内容及び出演者(役職は開催当時のもの 敬称略)

挨拶

- 種谷良二 警察庁生活安全局長

レポート1

「我が国における知的財産の保護と不正商品の排除活動について～原点回帰 ACAの歩み～」

- 後藤健郎 不正商品対策協議会事務局長

レポート2

「我が国の知的財産権侵害事犯の現状と課題」

- 津田隆好 警察庁生活安全局生活経済対策管理官
- 聞き手 前田哲男 弁護士 / 不正商品対策協議会監事

レポート3

「グローバル社会におけるサイバー犯罪の現状と課題」

- 宮西健至 警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課官民連携推進官

講演 & パネルディスカッション

テーマ「グローバル社会における知的財産の保護と不正商品の排除に向けて」

- 永山裕二 内閣府知的財産戦略推進事務局参事官
- ピーター・ラットクリフ 英国警察知的財産犯罪ユニット (PIPCU: Police Intellectual Property Crime Unit) 警部 (DCI)
- 埴崎隆之 弁護士 / コンテンツ海外流通促進機構事務局長
- モデレーター 遠山友寛 弁護士 / 不正商品対策協議会監事

閉会挨拶

- 島谷能成 不正商品対策協議会代表幹事

- 主催 不正商品対策協議会(ACA)
- 共催 日本経済新聞社
- 後援 知的財産戦略本部・警察庁・総務省・外務省・財務省・文化庁・経済産業省
- 協力 一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構

